

革新的な製品・サービスを創造し、 社会に貢献する

インタビュー

株式会社インフォディオ



<https://www.infordio.co.jp/>

東京都文京区本郷2-27-20本郷センタービル5F

・主な事業内容：ソフトウェア開発、AIコンサルティング・

AIソリューション開発

・設立：2002年7月

・資本金：1億円



社員の約90%が技術者 AI-OCRを独自開発

インフォディオはアイリックコーポレーション社(東証マザーズ)の100%子会社で、2002年に設立されました。親会社の保険関係のシステム開発、大手金融機関様やメーカー様のシステム開発、自社ソリューションの開発・販売を行っています。

技術志向の会社で社員の約90パーセントが技術者です。独自に開発したAI-OCRである「スマートOCR」やアプリケーション移行ツール「Flex to HTML5」など、他社に先駆けて新しい技術を取り入れた製品を開発しています。スマートOCRは、親会社のニーズに対応したAI-OCRエンジン開発をきっかけとして、現在はあらゆる業種、業界へご導入頂いています。

保険関係書類の複雑な業務をAIで自動化

AI-OCR開発のきっかけは、親会社が店舗型の保険代理店を展開しており、お客様の保険設計をお勧めする際に、現在加入している保険がどういった保険かという診断を自動システム化することから始まりました。診断システムは出来ていたのですが、そのシステムには現在加入いただいている保険内容を分析しながら手入力する必要がありました。保険証券はわかりにくく、読

み取るには属人的なスキルが必要でした。

契約書ごと、年度ごとに異なったりする、非定型で様々な様式の保険証券に対応するため、ゼロからのAI-OCRの開発に着手しました。

上記システムにより、保険店舗のスタッフがスマホアプリで保険証券を写真に撮るだけで、AI-OCRにより文字認識・データ抽出が行われ、素早く容易に診断できるようになりました。

このAI-OCRを汎用的にした「スマートOCR」に発展させ、現在は他の企業様や官公庁にも横展開しています。現在は、請求書、領収書、決算書、注文書、通帳、名刺、健康保険証、免許証などの文字認識・データ抽出にご利用されています。

JIIMAへの入会のきっかけ

私たちの技術と連携、情報共有し、世界に貢献していきたい

某旅行会社様の仕事で、添乗員さんが旅行先で支払ったレシートや領収書を経理部へ写真で送り、OCRとタイムスタンプを付与するといった電子文書保存システムを開発しました。これなら書類の郵送代や、紙類の保管スペース費用がかからない、今後はこういった電子化が必要で、さらに普及すると思いました。もっと世界に我々の技術で貢献したい、情報を発信していきたいという思いが根底にありました。

そんな時、展示会でたまたまJIIMAブースに立ち寄り、活動内容のご説明を伺って、参加できればと思いました。各社の垣根を越えて情報共有し、我々の技術と、他の会員様との技術で仕組みを連携したり、発展に寄与したいと考えております。

また、「スマートOCR」は電子帳簿保存法に基づいた経費精算の仕組みを持っていますので、JIIMA認証の取得や、委員会活動にも参加させていただきたいと思っています。

AIによるデータ抽出エンジンAI-EX AI-OCR 2.0へ更なる進化

先日、リリースした「AI-EX」は、AI-OCRエンジンで多種帳票のデータ化が誰にでも簡単に実現でき、事務作業効率が飛躍的にアップします。「スマートOCR」では定型・非定型の様々なフォーマットの帳票を汎用的にデータ化することが可能で、すでに多くの企業でご利用いただいておりますが、「AI-EX搭載スマートOCR」では、面倒な帳票定義がAIが帳票に合わせて行っていくので不要となります。

ユーザが取り出したい項目をクリックするだけで、抽出項目の

特徴量が機械学習され、学習モデルを基に自動的にデータ抽出
できます。AI-EXは大きな前進であり、我々はこれをAI-OCR
2.0と定義して進めています。

これまでのAI-OCRでは手書きなどの文字認識の精度向上が重点でしたが、AI-OCR 2.0では文字認識だけではなく、データ抽出の仕組みもAI化されています。

例えば、請求書が来たら、どこにいくら振り込むといった作業で、伝票のこの位置が銀行口座番号だという指定をAI-OCR 1.0では人の手でやらなければならなかったところを、自動で判別できるようになったところがAI-OCR 2.0との違いといえます。

今後は、手書きを含めた様々な文書を文書管理システムに組み込み、PDFデータ化、フォルダ自動振分や検索機能などを付加していきたいと思っています。

コロナ禍では在宅ワークが増え、紙からデータ化の需要も増えました。AI-OCRで、文字読み取りだけでなく、周辺技術と連携することにより、統合的オールインワンな仕組みを提供していきたいと思っています。

[illegible]

スマート OCR の使用画面例

AI-OCRの未来

今までドット位置で認識していたOCRがAI学習でコンピュータが認識できるようになり、手書き文字などの従来のOCRで読むことができなかった文字の認識が可能となりました。自然言語処理も含まれ、人が間違っても前後の単語で修正できたりするのもAI-OCRの特長で、認識率は手書きで98.5～%活字なら99.5～%の認識が可能です。

文書マネジメントにおいては、管理上の課題が数多くあると思いますが、従来の文書管理にAIやブロックチェーン技術が加わることによってその処理は大きく変わってくると思います。

例えば、文書の中身を判断して、分類・タグ付け・仕分け、高度な検索が可能になったり、ブロックチェーン技術により改ざん防止で信頼性の向上を図ったりするといった、今までとは異なる新しい技術の導入で、文書管理の課題をブレイクスルーできるのではないかと考えています。



弊社の技術で社会貢献できる企業を目指していきたい。
常務取締役 小池 隆司 氏

電子化で社会貢献を

コロナ禍では官公庁が電子化を推奨されていることもあり、弊社にも数多くのお問い合わせをいただいています。お客様各社の異なるニーズに合ったご提案をさせていただいておりますが、まだ紙があるから在宅できないといったお声も多く、「AI-EX搭載スマートOCR」を活用した在宅ワークで社会貢献をしていきたいと考えております。

お好きな写真と文字による 世界に一つの贈り物専門店

sense121 (センスイチニイチ) とは…

株式会社アピックスの提供するパーソナライズドワイン・吟醸酒のe-shoppingサイト名称です。企業・個人のパーソナライズド需要として、「お名前入リラベル」をあしらったお洒落なお酒のネットショッピングが可能になりました。酒造メーカー・酒販店から一歩違った視点で、ギフト・ノベルティ市場に挑戦します。

APIX
株式会社 アピックス

■ 本 社
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL.(06) 6271-7291(代) FAX.(06)6271-7296
URL <http://www.apix.co.jp> E-mail info@apix.co.jp

■ 東京支店
〒104-0041 東京都中央区東日本橋3-14-4 OZAWAビル3F
TEL.(03)5879-7291(代) FAX.(03)5879-7296
Online shopping <http://www.sense121.com/>



IS 612404